

今回初めて沖縄平和行進に参加させていただきました。中学、高校の修学旅行で沖縄を訪れて平和学習をしたことがあったので、それほど驚く事もないだろうという思いで各地を見学しました。しかし、ひめゆり平和祈念資料館を見学した時衝撃が走りました。罪のない学生が国のために戦争へ行かないのは恥だと習い、そして捕虜や奴隷になるなら自決しろという教えを守り、136名ものひめゆり学徒隊や教師の方が亡くなったと記されていました。カワイイ子供たちの顔写真がズラリと並び、その子供たちの性格や生い立ちなど詳しく書かれ、締め括りに死因が記されていました。ほとんどが自決でした。自分の子供を失ったように思えるほどの悲しみと悔しさが込み上げてきました。

平和行進では、現地のお年寄りの方が手を振って応援してくれるのを見ると平和への思いが強いなと感じました。しかし、迷惑そうに眺める人を見ると皆んなが皆んな基地反対だとは感じませんでした。夜お世話になった居酒屋のオーナーは基地賛成だと言ってました。胸ポケットには戦争へ行った父親の遺影があるし、たくさんの方が亡くなった過去を知ってるのになぜなんだろうと思いました。

この平和行進で経験したことを持ち帰って後輩に伝えるのは勿論、教科書には載っていない現実に起こってること背景や、現在の私には理解出来ない基地賛成派のことまでもっと知ってから伝えたいと思いました。そして僕たちが出来るのは政治を学び選挙に行くことだと思います。責任ある一票を入れて日本が平和で幸せな国になるよう行動したいと思います。

沖縄の皆さん貴重な時間をありがとうございました。